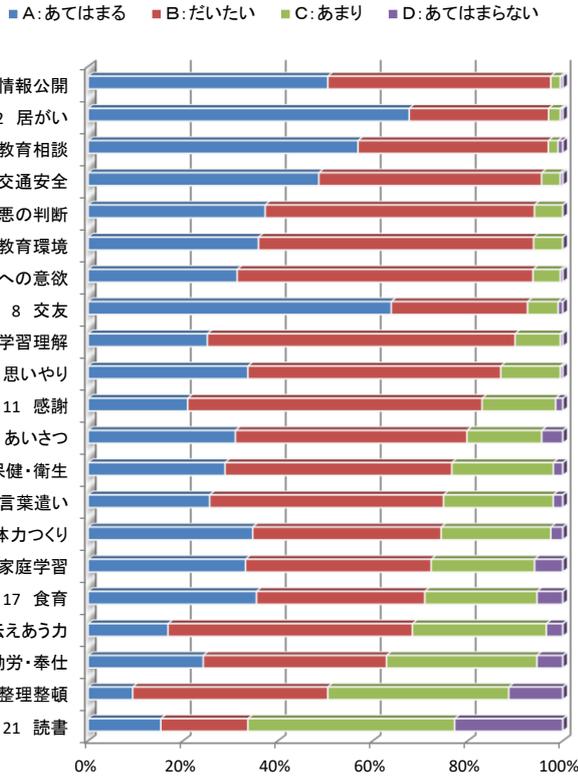


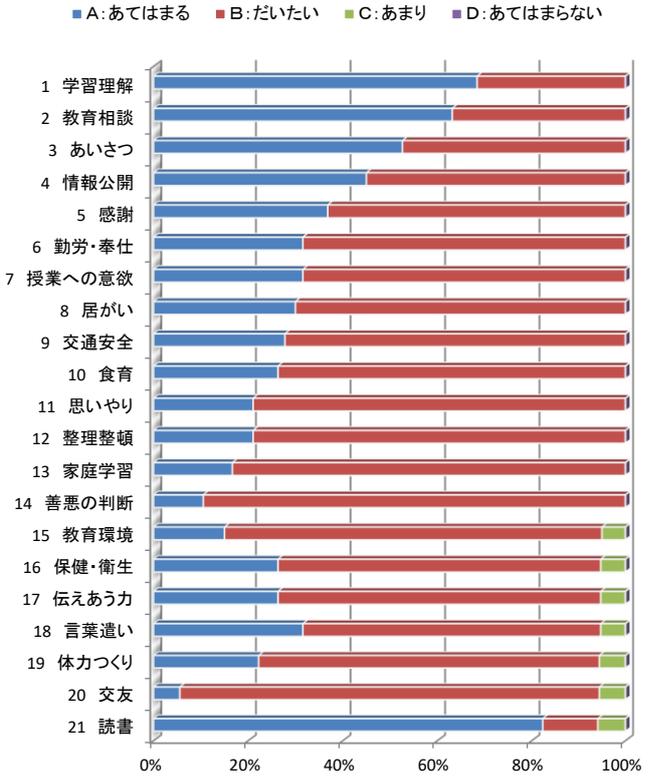
平成29年度学校評価のまとめ

回答数 児童:223名 保護者:203名 教職員:20名
 A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

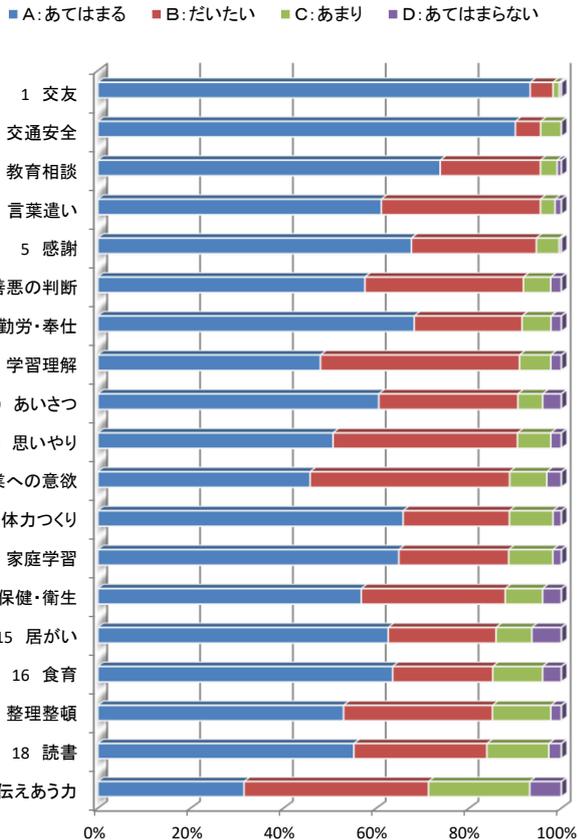
保護者評価(高い順)



教職員評価(高い順)



児童評価(高い順)



【児童自由記述】

【南小の良いところ】

- 1位 明るく大きな声であいさつや返事…94名(42.2%)
- 2位 親切・優しい人が多い…58名(26%)
- 3位 元気で陸上や運動をがんばっている…45名(20.2%)
- 4位 勉強を頑張っている…11名(5%)
- 5位 先生が優しい…8名(3.6%)

【考察】

1 成果

『学習理解』については、三者アンケートからこの3年間、肯定的回答率の上昇が続いていることが分かりました。また、授業への意欲についても保護者の評価は大幅に向上し、学校内での学習に関しては年々着実に向上していることが分かります。
 ・子どもたちの交友関係はおおむね良好で、三者とも肯定的評価が90%を超えています。また、『南小の良いところ』の記述でも26%の児童が「親切で優しい人が多い」と答えており、昨年の12%の2倍以上に増加しました。
 ・『教育相談』に関しては三者とも肯定的回答が95%を超え、しかもこの3年間着実に上昇が続いています。保護者の記述からは、教職員の児童への対応や情報の公開に関する感謝の記述があり、また、『南小の良いところ』に『先生が優しい』と書いた児童が8名いることなどから、教職員と保護者や児童との信頼関係がおおむね構築できているように思われます。
 ・保護者回答からは『勤労奉仕』について大幅に向上が見られました。清掃時の無言での取り組みや当番活動での実践、道徳などにより心も育ててきている手応えがあります。

2 課題と今後の取組

・『伝えあう力』
 学校全体での学力向上に関する取り組みは着実に効果を上げていますので、学校課題や全校的な課題設定を、表現力等の伝えあう力の伸張を目指した取り組みにし、校内で研究を進め、よりよい授業ができるよう改善を図っていきます。
 ・『家庭学習』
 昨年度より中学校区で家庭学習時間を『ホームランタイム』と名付け、啓発を始めました。今後も学校だよりや学年だより等でさらに情報発信を続け、中学校区全体で(家庭内で小中学生の兄弟がともに)家庭学習のしやすい環境をつくっていききたいと思います。また、小学校でも単元テスト等を最低1週間前には予告するなど計画的に評価テストを実施し、その目標に向けて、家庭学習を計画的にさせていくようにします。
 ・『読書』
 今年本校で『アウトメディアにチャレンジ』というゲームやスマホ・TV等を利用しない取り組みを行いました。しかし、実施後のアンケートから全体的な傾向はつかめたものの、メディアから離れようとする方向性には今一つ、つながっていないのが現状です。家庭学習の項でも述べましたが、児童の生活習慣を改善するためには家庭全体・そしてそれをやっている中学校区全体での取り組みが必要であると考えます。小中一貫教育の取り組みとして『アウトメディアデー』等を設定し、時間を生み出すことで、その時間を少しでも家読に振り分けていければ良いと考えています。